

## 三郷とリサイクル

埼玉県三郷市で「菜の花 花いっぱい うんどろ」を展開している神戸商店が、市が発刊している「三郷のあゆみ」を参考に「三郷とリサイクル」をHPで紹介している。地域振興、地域とともに歩む同社の企業行動の一端だが、奈良時代、貴重な物資の一つであった紙のリサイクルが今に伝えられ、興味深い内容になっている。

「三郷のあゆみ」に紹介されているのは、正倉院宝物の「養老五年（七二二）下総国大嶋郷戸籍」。奈良時代、律令国家の戸籍で郡・郷（ごう）名までわかる史料は全国でも十六カ所しか残っておられず、その一つが三郷を含む大嶋郷。「三郷のあゆみ」に紹介されている写真を紙面で再現できないのは残念だが、これを今に伝える紙は当時から写経用にリサイクルされ、千三百年前の日本人が数少ない資源

うけられないが、それでも神戸商店を始めとした地元企業などが中心になって「菜の花」と環境、教育、リサイクルを結びつけた地域活動を展開、同市で栽培された菜種を搾った「なたね油」を米澤製油（熊谷市）と共同開発、商品化した。